クリニカルパスウェイ
肝動脈塞栓術を受ける患者さんへ

平成28年4月作成
東京慈恵会医科大学西部医療センター

患者番号　@PATIENTID　　**患者氏名**　@PATIENTNAME

	外来・入院前	入院日～治療前日	治療当日	治療後1日	治療後2日～退院まで	次回外来までの 退院後の生活
日時	月　日	月　日	月　日	月　日	月　日～　月　日	
目標	□治療を理解し、準備ができる	□治療の準備を整えることができる	□安全に治療ができ、合併症を防げる	□安静を保ち肝臓への血流を保てる	□安静を保ち、治療が予定通りおこなえる □退院へ向け、生活の振り返りをおこなえる	□生活の注意点が分かり、療養ができる
食事		□状態に応じた食事となります	□朝より食事禁止、飲水可 □一日食べ物は摂取できません（治療内容によっては変更になる可能性があります） 	□通常の食事が再開します 	□医師からの指示がない場合は、特に制限はありません	□特に制限はありませんが、バランスの良い食事を心がけてください
活動	□風邪をひかないように、怪我をしないように注意してください	□特に制限はありません	□治療後より2時間はベッド上にて絶対安静 □治療後、2時間以降に医師が診察しトイレまで歩行可となります □治療に応じ安静時間が延びます	□なるべく安静を保ち、肝臓への負担を少なくしましょう 	□制限はありませんが、安静にし肝臓への負担を少なくしましょう	□身体に負担がかかるような激しい運動は控えてください
検査処置	□外来でCT・エコー・MRI・採血など諸検査をおこないます	□状態に応じ、採血・CTなどの検査がある場合があります	□治療時に採血をおこないます 	□鼠径部の針を刺した部位の消毒をおこないます	□鼠径部の消毒は3～4日行います □CTやエコーにて治療の経過を見ます、状態に応じて採血や他の検査をおこないます □状態に応じ、追加で局所治療をおこなうことがあります（主治医より説明があります）	□今後外来にて定期的に採血、CT、MRI、エコーをおこなっていきます
薬	□治療に対し休薬が必要な薬剤は、医師より説明があります ・薬剤 （　　） ・日時 （　　月　　日より）	□薬剤師が監査をおこないますので提出してください □中止薬の確認をおこないます	□中止の薬剤がある場合は看護師より説明があります。それ以外は通常通りに内服します □輸液と抗生剤の点滴があり 	□特別に中止する薬剤以外は内服を再開します □輸液と抗生剤の点滴があります	□抗生剤の点滴は状態に応じ3～5日ほどおこないます	□内服は継続し、飲み忘れがないように注意してください
清潔		□両鼠径部の剃毛があります	□入浴、シャワー浴は禁止となります（治療後2日目よりシャワー浴可となります）	□清拭のみとなります	□治療後2日目よりシャワー浴が可能です □発熱が無ければ3日目から入浴が可能です 	□身体を清潔に保ちましょう、長風呂や熱いお風呂は体に負担がかかるので控えましょう
指導説明	□医師より治療の説明、同意書が渡されます □グリーンカウンターにて看護師より入院の説明や患者さんについてのお話があります	□看護師より再度治療についてや治療の流れについて説明があります	□治療後の安静は、寝返りを打たない、足を曲げないになります □排尿はベッド上にて尿瓶もしくは差し込み便器になります、治療前に確認できます □治療により熱が出やすい状況です発熱時は解熱剤の点滴があります、疼痛時は痛みどめの点滴がありますので看護師へ伝えてください	□治療により熱が出やすい状況です発熱時は解熱剤の点滴があります、痛み時は痛みどめの点滴がありますので看護師へ伝えてください □身体の抵抗力が弱まりますので、マスク・手洗い・手の消毒を心がけてください	□退院後の生活の注意点などの説明を看護師よりおこないます □医師より治療の成果や今後の治療についての説明があります 状態に応じて入院を継続し、治療を継続していきます	□入院中、外来、いつでも質問にお答えします 少しでも質問や疑問がある場合はご相談ください □発熱、痛みなど体に変化があった場合は無理をせず受診してください